

令和 ● 年(家イ)第 ●●● 号

親子交流に関する陳述書 【子と離れて暮らしている親用】

令和 × 年 × 月 ×× 日
氏名 甲山 太郎

1 子(名前: 次郎)の状況について

(1) 子の性格や行動傾向、関心を持っていること

明るく、友達がすぐにできる。外で遊ぶことも好きだが、屋内で絵を描くことも好きである。漫画のキャラクターを書くことが特に好きだったが、今はどの漫画のキャラクターを描いているのかは分からない。

(2) 子と父母それぞれとの関係、きょうだい関係

父母に、学校での話や友達のことをよく話してくれる。家族で出かけた時は、とても楽しそうだった。父母との関係は良いと思う。父が厳しく怒ったことがあり、その時は申し訳なさそうにしていたが、すぐに気を取り直していた。異父兄とも、楽しそうに遊んでいたの、きょうだい仲も良いと思う。

(3) 父母の紛争についての子の認識の程度(親からの説明の有無、その内容、子の反応等)

父母の仲が良くないことは、知っていると思う。離婚調停のことを知っているかどうかは分からない。母がどう説明しているかも分からないが、父からは、特に何も言っていない。父が会いたがっていることは、おそらく知っていると思う。

(4) これまでの親子交流の実情(親子交流の有無、頻度、親子交流の際の子の様子等)

親子交流の有無、頻度	☐ 有 箇月・週間に 回(曜日) 日帰り・1泊・() ☒ 無
有る場合の 具体的方法	日程調整の連絡方法() 子の受け渡し方法() 親子交流の場所等()
無い場合の理由	父から母に対し、実施するように求めてきたが、まだ実施されていない。実施しない理由を母に聞いたが、特に説明はなかった。 ただ、別居して1か月ほどたったころ、子と偶然ショッピングモールで出会った。母はその場にいなかった。子と、10分ほど会話をすることができた。元気になっているか、サッカークラブは頑張っているかなど、世間話をした程度である。調停のことや、離婚についての考えなどを聞くようなことはしていない。

2 親子交流を実施する場合の意見

(1) 頻度、日時、場所、受け渡し方法等

少なくとも、月1回実施してほしい。学校があるので、土日曜日としたい。サッカーなど習い事があるので、半日程度会えればと思う。もし、サッカーの試合などで、親子交流ができないのであれば、同じ月で代わりの日を決めてほしい。
送迎は、両方とも父が行うのでよい。母宅へ送迎する。

(2) あなたが子に配慮できること（相手の生活を探るような質問をしない等）

子とは、思い切り体を動かして遊びたいだけなので、母のことを聞き出すとか、今の生活の様子を探るといことは、当然しない。もし、子が父に悩みなどの相談を自分から言い出した場合は、信頼にのってあげようと思う。
もし、子が、異父兄と一緒に来たいと言った場合は、一緒に来てくれてよい。

(3) 親同士の信頼関係を高めるために、他方の親に配慮できること（他方の親に無断で子と親子交流の約束をしない等）

親子交流の間に、こちらから母の話題を出すことは特にしない。親子交流の約束も、母を通して行う。プレゼントについても、子が後で母に文句を言われてもかわいそうなので、事前に母に相談する。

(4) 他方の親に配慮してほしいこと（事前に決めた時間を守ってほしい等）

親子交流の日には、笑顔で子を送り出してほしい。親子交流が終わった後も、親子交流中の様子を細かく子に聞きだすことは、子がかawaiiそうなのでやめてほしい。

(5) 親子交流で子としたいこと（具体的な過ごし方、交流場所、交流時間等）

公園でサッカーをするなど、屋外で体を動かすような遊びをしたい。もちろん、子の希望に合わせるので、子が希望すれば、映画や遊園地、テーマパークなどにも行きたい。
もし土曜日に実施するなら、父の実家で夕食を一緒に食べるということもしたい。